

行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	新たな動物由来感染症の事前対応型防御に向けた基礎的・応用的研究		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	総務部会計課		課長 星野 真	
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、新興感染症の出現頻度が上昇しているが、ヒトの感染症は基本的には動物に由来する。したがって、その対策には、ヒトでの大規模発生前に、動物で感染症のダイナミクスを事前把握することが極めて重要である。国内での高病原性鳥インフルエンザの頻発に見られるように、新たな動物由来感染症への対応を強化することは新興感染症の発生に向けた危機管理として極めて喫緊の課題である。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	動物における感染症ダイナミクスを事前把握するために、まず既知病原体をモデルに各種動物、土壌・水系など環境や動物由来食品の検査手法の確立・検証を国内外機関との共同研究を含め実施する。そして今後の新たな動物由来感染症が未知病原体であることも想定し、優先的に考慮すべき疾病の評価、国内動物・環境における実態調査をもとに、想定されうる未知病原体の検出法を開発する。これらの検出法を用い、実際に国内の既知病原体浸潤状況を把握するとともに、未知病原体の検出に繋がるモニタリング・サーベイランス手法を種々の動物を対象として確立する。加えて、病原体が宿主域を超えて新たな動物へ感染・伝播する機構の分子的基盤に関する研究を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	/	/	10
		補正予算	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	
		計	/	/	/	/	10
	執行額	/	/	/	/	/	
	執行率 (%)	/	/	/	/	/	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	/	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	検査手法の確立であることから、定量的な指標は示せない。	成果実績		/	/	/	/
		達成度	%	/	/	/	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	/	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	検査手法の確立であることから、定量的な指標は示せない。	活動実績 (当初見込み)		/	/	/	( ) ( )
				/	/	/	/
単位当たりコスト	- (円/ )		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	備品費	/	1				
	消耗品費	/	9				
		/					
		/					
		/					
計	/	10					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>新たな動物由来感染症が新興感染症として台頭すれば、ヒトや家畜に対する直接的健康被害だけでなく、治療にかかる医療費の増大、社会経済活動の停滞、家畜の処分に要する補償、風評被害等に基づく様々な経済的影響等が想定され、経済的被害も極めて甚大であることはこれまでの例を見れば明らかである。事前対応型の対応が可能となればその費用対効果は極めて高いといえる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、新たな動物由来感染症に対応するため、事前の早期発見・迅速対応システムの構築に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					